

古代アメリカ研究会

会報

No. 2

CONTENTS

古代アメリカ研究会第2回総会

古代アメリカ研究会研究発表会

古代アメリカ研究会役員会

新入会員名簿一覧

事務局からのお知らせ



者と発表題目は以下のとおりです。なお、発表内容は会誌創刊(創刊準備)号に掲載される予定です。

1 古代マヤ国家と交換－東南マヤ低地出土打製石器の事例研究－

青山和夫氏(茨城大学)

2 マヤの王のための彫刻－ヤシュチランのステラとリンテル、碑文の階段－

宇佐美葉子氏

3 先史ティワナク社会の政治経済過程の研究

渡部森哉氏(東京大学大学院)

4 古典期マヤ文明二次センターの調査・修復・保存計画

中村誠一氏(民族学振興会)

5 クントウル・ワシ遺跡の修復・保存

加藤泰建氏(埼玉大学)

6 現代メキシコと古代文明

高山智博氏(上智大学)

古代アメリカ研究会役員会

1997年6月21日(土)に東大教養学部14号館407号室にて、役員会を開催しました。主な議題は第2回総会で

の質問事項他4項目です。

出席者：大貫良夫(会長)

中村誠一(代表幹事)

徳江佐和子(事務幹事代行)

柳沢健司(監査委員)

委任状：高山智博(運営委員)

馬瀬智光(運営委員)

関雄二(運営委員)

多々良穰(監査委員)

役員11名のうち、8名出席の扱いとなったため、役員会が成立しました。

1 総会での問題点

1) 研究会の名称について

外国向けには研究会の所在国を明らかにするためにJapanを付すが、日本語の研究会名にあえて「日本」を冠さないことにした。

2) 予算について

来年度から作ることにする。

3) ホームページについて

① 作成する方向で、会員の誰かにその準備を依頼する。

② 会の趣旨説明、入会手続き方法、写真なども入れる。

③ 英文・西文のものも作成する。

2 『会誌』について

創刊(創刊準備)号については、第2回研究発表会での発表を会誌に掲載することとし、各発表者に執筆依頼状を出す。

なお、総会後に関雄二運営委員の作成





事務局からのお知らせ

猛暑かと思わせる春、長雨、厳しい残暑とエル・ニーニョ現象をもろに浴びてしまった日本ですが、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。この「古代アメリカ研究会」も発足して2年目になります。総会、役員会、お手紙などで様々なご質問を受けることにより、この会も成長してまいりました。ご質問やご叱責の全てを解決したわけではなく、まだまだ至らぬ点も多いとは思いますが、今後内容の濃い研究会にしていきたいと役員一同考えております。当日欠席された会員もおられますので、今一度総会および役員会で決まりましたことをお知らせ申し上げます。

・会則について

総会で確認されたとおり、修正会則が承認されました。名称は「古代アメリカ研究会」のままです。引き続きと考えております。

・ホームページについて

ホームページの作製経験のある会員の方からのご意見をお待ちしております。開設の方向で考えております。

・会費について

まだ97年度の会費を納入頂いていない方もおられますので、下記の郵便局の振替口座にお振り込み下さい。年会費は2千円です。

振込先:00180-1-358812

古代アメリカ研究会

編集後記

古代アメリカ研究会の第2回研究発表会で発表していただいた内容は、基礎研究から保存、政治との関わりまで、実に多岐に及ぶものでした。ただ残念に思ったのは、多くの質問が出たのですが、比較的若手の方からの質問が少なかったように思います。この研究会の主旨は、互いに切磋琢磨する場を設けるということです。来年度の第3回の研究会では、若手・学生を中心とした活発な議論を期待しております。

『会報』は会員の情報交換の場です。

ご意見、各地での研究会の発表内容、所有文献一覧や中南米関係雑誌等お知らせしていただければ幸いです。

最後に、10月中に発行予定でしたこ

の会報も、また例年のように役員の海外調査による不在のために発行が遅れてしまいましたことをお詫び申し上げます。

発行	古代アメリカ研究会
発行日	1997年11月17日
編集	馬瀬智光

古代アメリカ研究会事務局
〒153 東京都目黒区駒場3-8-1
東京大学教養学部文化人類学教室内
電話： <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>
FAX： <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>
郵便振替口座：00180-1-358812